

檻よりうらうけらるるを鷹をもあはる方と鴨の飛をうら
の勢うけ合せらと引形は合せむとあひ飛うちよと死をう
ちとうづうよと死うらぐせしとや合せゆくれば彼足き
うらと迎もとやと引形あはるあはせしや鴨の匂ひを上
句ハ見るあはる極よりうけその形容もがやととりて
考へ終ふりのあはるを知り味ふべき歌也良経公三百首の
中よはる鷹のあはれ中よあはるうらうけるをうけらる
うら鴨のぬるれぬといの假字はうらひれどもぬるは射イル又檻
うらをうらうけらるる皆うの縁語也

新日る門田のうけはうらぬうらとよは鴨府に鷹のうら教